

第68回NHK杯全国高校放送コンテスト（7月10日からオンライン開催）に、玉野高放送部が4部門の県代表として出場する。6日の県予選で、校内放送研究発表、創作ラジオドラマの2部門の優勝と、創作テレビドラマ部門2位、ラジオドキュメント部門3位の好成績を収めた。

（矢吹喜一朗）

テレビドラマは「T o B e M y s e l f」。L G B Tなど性的少数者にスポット

受けた。ラジオドラマの作品は「N e wカグヤ〜令和の愛の物語〜」。平凡な女子高生がかぐや姫を題材にしたアプリを開発。求婚する相手に無理難題を突きつけた竹取物語と同様、アプリ内のかぐや姫も高額な課金を要求するなど、悪質アプリの危険性を訴える内容になっている。県予選では「歴史とITを組み合わせた点やせりふの演技・効果音もうまくできている」と講評を受けた。

校内放送研究発表の題名は「コロナ時代の放送部活動」。パソコンやスマートフォンを使用したオンライン活動の中でも、リモート取材の課題を主に取り上げた。音質を良くするため外付けマイクを使うことや、身近にある白い紙をレフ板代わりにして顔色を明るく見せる技などを紹介している。

全国放送コン

玉野高、4部門出場

自信作で勝負

コロナ下活動、L G B T題材



響で大会が中止された昨 year を挟み9年連続。8月は第45回全国高校総合文化祭和歌山大会の出場も決まっている。部長の3年溝内春香さん(17)は「コロナ禍で頻繁に集まることのできず、部員とコミュニケーションを取るのが難しい中、自信の持てる作品ができた。全国でも高い評価をいただけるよう頑張りたい」と話している。

を当て、体は男子だが、心は女子という生徒を主人公にストーリーが展開していく。ラジオドキュメント「覚悟できますか？」は、来年4月に民法改正で成人年齢が20歳から18歳に引き下げられることについて、高校生、保護者、教職員の戸惑いや不安、期待をインタビューした。

玉野高放送部の全国大会出場は新型コロナウイルスの影響で延期された。

マスク姿で間隔を取りながら発声練習に励む玉野高放送部員

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。